

## 技術士業務研究会／2021年（令和3年）10月度例会「防災・減災討論会」

☆開催日時：2021年（令和3年）10月8日（金）19:00～21:30

☆開催場所：ZOOM を使った Web 例会（討論会）につき、各自の PC 等でご参加願います

☆開会挨拶（19:00～19:05）細谷 陽三 部会長

☆討論会（講演と討議）（19:05～21:25）

「防災・減災に対する危機管理の考え方 ～一般市民の心構えと技術士の役割～」

★講演・休憩中に質問内容をチャットに簡潔に記入願います。時間の許す限り、各講師から回答いたします。

（司会・進行：細谷陽三）

【講演 1】 「東北三県の防災・減災の取組みに関する私見」（19:05～19:45）

技術士（建設部門） 桶屋 眞士 氏

【講演概要】（発表 30 分＋質疑応答 10 分）

東日本大震災から 10 年、津波被害を受けた沿岸部では、いまま防潮堤の建設が進んでいる。震災前にはなかった巨大な構造物は、住民と海との関係を大きく変えていく。防潮堤建設に伴い、浜が破壊され人口減少している例、防潮堤の位置や形状を変更させて共存している例、などを紹介したい。

【講演 2】 「水利施設における防災・減災対策の取組み」（19:45～20:25）

技術士（農業、総合技術監理部門） 新保 義剛 氏

【講演概要】（発表 30 分＋質疑応答 10 分）

防災・減災対策は、耐震検討の他、ICT や AI 等の新技術の活用が進んでいる。具体的には、AI モデルによる洪水予測、防災情報ネットワーク・共有システムがある。さらに、発災直後の行政機関の人的負担の軽減、発災現場や対策本部の混乱を解消に AI 技術を活用しようとする取り組みが進んでいる。

<休憩 5 分>

【講演 3】 「火力発電所の防災・減災設計」（20:30～21:10）

技術士（機械、総合技術監理部門） 増田 佳文 氏

【講演概要】（発表 30 分＋質疑応答 10 分）

地震、台風等の災害が発生すると、大規模な停電が発生する。東日本大震災では、多くの発電設備が損傷し、電力供給が安定するまでに長い期間を必要とした。今回の講演では、東日本大震災及び北海道胆振東部地震において発生した大規模停電についての概要を説明する。そして、現在の火力発電設備の防災・減災設計について説明し、発電インフラのあり方について検討する。

【全体討議】（21:10～21:25）

・業務研究会連絡事項（21:25～21:30）

☆Zoom による Web 例会参加方法

- ①「Zoom」アプリをインストールしているカメラ・マイク・スピーカ付の PC またはスマホ・タブレットをご準備ください。
- ②参加者に事前に送付する招待メールにある「長い URL」をクリックすれば、会議に参加できます。

◇講演会参加費会員：無料 非会員：500 円 パスポート保持者：無料

例会後に請求書（振込先・振込方法を記載）を送付いたします。

支払期限：月末 振込手数料（自己負担）

◇申込：下記 HP からお申し込み下さい。メールでの申し込み不可。

業務研 HP：<https://sites.google.com/site/gyoumuken>

**【講師の経歴】**

講師氏名：桶屋 眞士（おけや まこと）

<生年月日、出身地>

1955年11月 福井県生れ

<学歴>

1979年3月 福井大学工学部建築学科 卒業

<職歴>

1979年4月 飛鳥建設株式会社

2011年11月 西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

2016年4月 高知県任期付き職員で東北派遣  
(気仙沼市役所2年、岩手県庁2年、富岡町役場1年)

2021年4月 神奈川県任期付き職員で東北派遣  
(南相馬市役所にて建築業務に従事)

<所属学協会>

京都技術士会

日本技術士会

<資格>

技術士(建設部門-建設環境)、環境計量士、一級建築士 ほか

<趣味>

オートバイツーリング

理科教室(京都技術士会など)

夏山歩き など

**【講師の経歴】**

講師氏名：新保 義剛（しんぼ よしたけ）

<生年月日、出身地>

1957(S32)年3月19日生まれ 出身地：大阪府

<学歴>鳥取大学農学部卒

<職歴>1979年4月農林水産省入省

2017年8月日化エンジニアリング入社 現在にいたる

<所属学協会>農業農村工学会

<資格>技術士(農業、総監)、APEC Engineer (Civil)、1級土木施工管理技士

<趣味>鉄道マニア、散歩

**【講師の経歴】**

講師氏名：増田 佳文（ますだ よしぶみ）

<生年月日、出身地>

1962年、兵庫県神戸市

<職歴>

1987年 三菱重工業株式会社入社

高砂製作所で火力・原子力発電プラントのプラント設計に従事し、発電用大型ガスタービンの吸排気設備、配管補機の設計が主たる業務

2014年 三菱航空機株式会社に出向

試験管理室に所属し、MRJの全機強度試験（静強度試験及び疲労強度試験）の型式証明試験に従事

2017年 三菱パワー株式会社に復職

発電用ガスタービンの改良サービス技術者として従事。現在に至る

<所属学協会>

公益社団法人日本技術士会会員、

一般社団法人日本機械学会会員

<資格>

技術士 機械部門（動力エネルギー）、総合技術監理部門（機械）

技術士登録 登録番号 56499号

<以上>